

技術(1年) 技術 年間指導・評価計画

教科の目標

- ① 技術の見方・考え方を鍛え、思考・体験活動を通して、生活の中にある技術に目を向けさせる。
- ② 練習題材から基礎的・基本的な技能を習得し、活用できるようにする。
- ③ 発達段階に応じた題材設定を行い、問題解決に向けて能動的に取り組むことができるように促す。
- ④ 協働学習を通して、生活の問題点や改善点を発見し、様々な条件の中で解決方法を考え実践する姿をめざす。
- ⑤ 各題材で、技術(テクノロジー)を評価し活用することを学習することで、持続可能な社会の構築を目指す生徒を育む。

月	単元・題材名	時数	学習内容	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	・A 材料と加工に関する技術(1)生活や産業の中で利用されている技術 D 情報に関する技術(1)	1	・技術のガイダンス ・安全指導・QRコードの製作 ・インターネットのしくみ ・L字フックの製作 ・ネームプレートの製作	・インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについての知識を身に付けている。	・情報に関する技術の利用場面に応じて、適正に活動している。	・技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割と、技術の進展と環境との関係について関心をもっている。 ・情報社会において適正に活動しようとしている。
5	A 材料と加工に関する技術(3)材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作	3	・等角図の学習 ・構想図、木取図、設計図の学習	・製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 ・等角図などの見方やかき方についての知識を身に付けている。 ・製作品の構想を等角図などでかき表すことができる。	・材料と加工に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。	・省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。
6	A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工法	6	・練習題材ペンスタンドの製作 A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工法	・材料の特徴と利用方法及び材料に適した加工法についての知識を身に付け、材料と加工に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。 ・製作図を基にして、材料取り、部品加工組立て・接合、仕上げができる。		
7						
			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・学習ノート ・ワークシート ・授業観察 ・実習・定期考査 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査・設計図	・振り返りシート ・ワークシート ・授業観察
9 10	A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工法	6	・練習題材ペンスタンドの製作 A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工法	・材料に適した切断、切削などの方法についての知識を身に付けている。 ・製作図を基にして、材料取り、部品加工組立て・接合、仕上げができる。		
11 12	A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工法	11	・教室ロッカーに合わせた棚などの製作(材料加工)	・切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから材料、使いやすさ及び丈夫さなどを比較・検討した上で、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している。	・省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。

			2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・学習ノート ・ワークシート ・授業観察 ・実習・定期考査 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査・設計図	・振り返りシート ・ワークシート ・授業観察
1 2 3	A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工	7	・教室ロッカーに合わせた棚などの製作(組立加工・塗装)	材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。・切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから材料、使いやすさ及び丈夫さなどを比較・検討した上で、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している。	・省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。
	A 材料と加工に関する技術(3)材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作	1	・材料と加工に関する技術の適切な評価・活用	・切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。	よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用している。	・よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・ワークシート ・授業観察 ・実習・定期考査 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査・設計図	・振り返りシート ・ワークシート ・授業観察

技術(2年) 技術 年間指導・評価計画

教科の目標

- ① 技術の見方・考え方を鍛え、思考・体験活動を通して、生活の中にある技術に目を向けさせる。
- ② 練習題材から基礎的・基本的な技能を習得し、活用できるようにする。
- ③ 発達段階に応じた題材設定を行い、問題解決に向けて能動的に取り組むことができるように促す。
- ④ 協働学習を通して、生活の問題点や改善点を発見し、様々な条件の中で解決方法を考え実践する姿をめざす。
- ⑤ 各題材で、技術(テクノロジー)を評価し活用することを学習することで、持続可能な社会の構築を目指す生徒を育てる。

月	単元・題材名	時数	学習内容	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	B エネルギー変換に関する技術(1)エネルギー変換機器の仕組みと保守点  B エネルギー変換に関する技術(2)エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作  C 生物育成に関する技術(1)生物の生育環境と育成技術	12	・QRコードの製作 ・電気部品について ・半導体について ・はんだ付け作業、実験装置の製作 ・タッチセンサーの製作  ・トマト栽培の見直し・栽培計画	・社会で利用されている機器等における、エネルギーの変換制御、利用についての知識を身に付けている。  ・エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。  ・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。・設計に基づき、安全を踏まえた製作品の組立て・調整や、電気回路の配線及び回路計画などを用いた点検ができる。  生物の適切な管理作業ができる。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから設計要素を比較・検討した上で、製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを決定している。  ・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討した上で、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。	・省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。  ・生物育成に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・学習ノート ・ワークシート ・授業観察 ・定期考査 ・実習・設計図 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・実習・設計図・計画 ・作品 ・言語活動・定期考査	・振り返りシート ・ワークシート ・授業観察 ・実習・設計図・授業の感想シート ・言語活動・振り返りシート

8 9 10 11 12	C 生物育成に関する技術(2)生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育 B エネルギー変換に関する技術(1)エネルギー変換機器の組立・調整 A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工法	7  8	・大根栽培の見直し・栽培計画 ・栽培の基礎 土づくり・肥料の三要素 ・間引き ・肥料について  ・エネルギー変換教材の製作(電気) ・プラスチックの加工	・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。  ・基礎的・基本的な電気の知識を理解し、オームの法則を用いて抵抗値を計算によって求めることができる。・生物の適切な管理作業ができる。  ・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。	・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討した上で、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。 ・成長の変化をとらえ、育成する生物に応じて適切に対応を工夫している。  ・実験装置を用いて、制約条件に適した抵抗値を決定し、その理由を技術的な根拠を持って説明できる。	・生物育成に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするともに、適切な解決策を示そうとしている。  ・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培又は飼育方法を検討しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・学習ノート ・ワークシート ・授業観察 ・定期考査・授業観察 ・実習・設計図 ・作品 ・ワークシート	・ワークシート ・授業観察 ・実習・設計図・計画 ・作品 ・言語活動:定期考査	・振り返りシート ・ワークシート ・授業観察 ・実習・設計図・授業の感想シート ・言語活動:振り返りシート
1 2 3	D 情報に関する技術(3)プログラムによる計測・制御	8	フローチャートの学習 ・計測・制御のプログラム作成 ・情報に関する技術の適切な評価・活用	・計測・制御システムにおけるインタフェースの必要性についての知識を身に付ける。 ・情報処理の手順についての知識を身に付けている。・設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。	・計測・制御の目的や条件を明確に、社会的、環境的及び経済的側面などから情報処理の手順を変更した場合の効果を比較・検討した上で、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	・利用者への影響などを考え、プログラム作成しようとしている
			3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査・授業観察 ・実習・設計図 ・作品 ・ワークシート	・ワークシート ・授業観察 ・実習・設計図・計画 ・作品 ・言語活動:定期考査	・振り返りシート ・ワークシート ・授業観察 ・実習・設計図・授業の感想シート ・言語活動:振り返りシート

技術(3年) 技術 年間指導・評価計画

教科の目標

- ① 技術の見方・考え方を鍛え、思考・体験活動を通して、生活の中にある技術に目を向けさせる。
- ② 練習題材から基礎的・基本的な技能を習得し、活用できるようにする。
- ③ 発達段階に応じた題材設定を行い、問題解決に向けて能動的に取り組むことができるように促す。
- ④ 協働学習を通して、生活の問題点や改善点を発見し、様々な条件の中で解決方法を考え実践する姿をめざす。
- ⑤ 各題材で、技術(テクノロジー)を評価し活用することを学習することで、持続可能な社会の構築を目指す生徒を育てる。

月	単元・題材名	時数	学習内容	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	B エネルギー変換に関する技術(2)エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作  A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工法(製作品の設計・製作)	7	・QRコードの製作 ・生活にあるしくみを理解する。 自転車の変速機や、エンジンのしくみ ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用  ・エネルギー変換教材の製作	・エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。 ・製作品の組立て・調整や点検ができる。  ・工具や機器を安全に使用できる。  ・切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。	・エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。	・エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするともに、適切な解決策を示そうとしている。

			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>授業観察</li> <li>定期考査</li> <li>実習・設計図</li> <li>作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>授業観察</li> <li>実習・設計図・計画</li> <li>作品</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>授業観察</li> <li>実習・設計図</li> <li>振り返りシート</li> </ul>
9 10 11	D 情報に関する技術(2)デジタル作品の設計・制作	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組み</li> <li>WEBページの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組み、情報をコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法についての知識を身に付けている。・電気回路について理解できている。</li> <li>メディアの素材の特徴と利用方法や、適切なソフトウェアを選択し、多様なメディアを複合する方法についての知識を身に付けている。</li> <li>設計に基づき、適切なソフトウェアを用いて多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などからメディアの素材の特徴と利用方法や、適切なソフトウェアなどを比較・検討した上で、作品に適したメディアの種類やデジタル化の方法、複合する方法などを決定している。</li> <li>よりよい社会を築くために、情報に関する技術を適切に評価し活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が安心して利用できる作品を設計・制作しようとしている。</li> <li>新しい発想を生み出し活用しようとしている。</li> <li>利用者への影響などを考え、プログラム作成しようとしている。</li> <li>新しい発想を生み出し活用しようとしている。</li> <li>よりよい社会を築くために、情報に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。</li> </ul>
12	A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工法(製作品の製作)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンプの製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。</li> </ul>		
			2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ノート</li> <li>ワークシート</li> <li>授業観察</li> <li>定期考査</li> <li>実習・設計図</li> <li>作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>授業観察</li> <li>実習・設計図・計画</li> <li>作品</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシート</li> <li>ワークシート</li> <li>授業観察</li> <li>実習・設計図</li> </ul>
1 2 3	A 材料と加工に関する技術(2)材料と加工法(製作品の製作)	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンプの製作</li> <li>技術の評価と活用・レポートの製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。・切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。</li> <li>新しい発想を生み出し活用しようとしている。</li> <li>よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。</li> </ul>
			3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>授業観察</li> <li>定期考査</li> <li>実習・設計図</li> <li>作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>授業観察</li> <li>実習・設計図・計画</li> <li>作品</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシート</li> <li>ワークシート</li> <li>授業観察</li> <li>実習・設計図</li> </ul>